

## エンマ大王と鬼たちが魅了

8/24~26

### 第55回登別地獄まつり

8月24日(金)から26日(日)、登別温泉街で、『第55回登別地獄まつり』（市・登別国際観光コンベンション協会主催）を開催しました。

今年度は、登別温泉の開湯160年を記念し、3日間の特別開催。台風などの影響を受け、予定していたイベントの一部が中止となりましたが、国内外から約5万8千人が訪れ、エンマ大王が温泉街を練り歩く『エンマ大王からくり山車』や重さ約1トにもなるみこしを担ぐ『鬼みこし暴れ練りこみ』など、迫力満点の催しに、観客たちは大きな歓声を上げていました。26日(日)に行われた『鬼踊り大群舞』では、参加した多くの市民や観光客が、熱気あふれる踊りで祭りを盛り上げていました。



▲観客を圧倒した『エンマ大王からくり山車』

## ふるさと登別で大きな花を

8/27

### 東京登別げんきかい設立30周年記念植樹

8月27日(月)、東京圏で生活する登別市にゆかりのある方々で構成されるふるさと会『東京登別げんきかい』が設立30周年を記念し、川上公園でヤエザクラの『記念植樹』（同会主催）を行いました。

平成元年に発足した『東京登別げんきかい』は、会員同士の親睦を図りながら、ふるさとの応援団として長きにわたり登別市に関する情報を東京圏で発信し続けてきました。30周年を迎えた今年度は『ふるさと登別応援ツアー』として、同会員17人が登別市に里帰り。登別地獄谷や大湯沼川天然足湯、登別マリパークニクス、のぼりべつ酪農館などを訪れ、市内の魅力を見つけたほか、春には多くの桜が咲き誇り、市民の憩いの場となっている川上公園に植樹を行い、ふるさと登別に彩りを添えました。



▲ふるさとできれいな花を咲かせてほしいという願いを込めながら植樹を行う東京登別げんきかいの会員

## 交通ルール遵守で 楽しい思い出を

8/21

### 外国人観光客に対する人と旗の波街頭啓発運動

8月21日(火)、登別グランドホテル付近と登別東インター入口付近の2カ所『外国人観光客に対する人と旗の波の街頭啓発運動』（登別市交通安全協会・市主催）を行いました。

同運動は、レンタカーを利用して北海道内を移動する外国人観光客が増加していることから、平成29年度から実施しています。

今年度は、市連合町内会や登別温泉町の老人クラブの会員など約80人が、登別を訪れた海外からの観光客に英語や中国語などのハンドプレートやのぼりで、交通ルールの徹底を呼びかけました。



▲登別温泉を旅立つ観光客に対して、交通安全を訴えた参加者

## 私の国『トーゴ共和国』

8/23

### 登別市民憲章制定50周年記念 平成30年度第3回国際理解講座

8月23日(木)、市民会館で開催した『平成30年度第3回国際理解講座』（市主催）に、46の方が参加しました。

今回は、西アフリカのトーゴ共和国出身のアシィ アワさんを講師に迎え、『アフリカの笑顔』と称されるトーゴ共和国の国民性や1クラス約100人の子どもたちがいるという教育環境などについて講話いただきました。

子どもが生まれると家族や知人の垣根を越えて、みんなで踊り、喜びを分かち合うというトーゴ共和国の国民性の話しを聞いた参加者は、日本との文化の違いに関心を示していました。



▲たえず笑顔を見せて話してくれたアシィ アワさん